

編集後記

■会報の原稿はいつでも受付けています。千葉県に限らずともいろんなきこ情報をお寄せください、ジャンルは問いません。メモ書きOK、むかしの話大歓迎。また会員紹介は、自己紹介、他己紹介どちらでもかまいません、ご自身ときのこにまつわるお話をテーマにぜひ一筆お願いいたします。(公)

■本号は10周年記念の19号を超える大冊となりました。青木実氏の労作、「日本きのこ検索図版」がどのようにして誕生し、その図版の出版に本会が如何にかかわったのが4本の記事から十分読み取ることができます。本号で最も興味深い記事の一つです。(幸)

■臍になった各行事の記憶を掘り起こすという難行を今年も繰り返しました。行事が終った時点で記録をまめにしておけばいいのだけれど。(悦)

■沢山の人に原稿を書いて、とメールをうったところ、ものすごく高い歩留まりで、原稿があつまり、編集の吉田副会長には、大変なご苦勞をおかけすることになってしまいました。今年度は本郷先生の追悼号に続き2冊目の発行です。でも、読み応えのあるものばかりで、御寄稿頂いた方々に感謝申し上げます。(光)

千葉菌類談話会通信 24 号 CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO. 24

2008 年 3 月

発行／千葉菌類談話会

編集／千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会事務局

〒260-8682 千葉市中央区青葉町9 5 5-2

千葉県立中央博物館植物学研究科 吹春気付